

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かしゆかしゆ		
○保護者評価実施期間	令和6年11月26日		～ 令和7年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和6年11月26日		～ 令和7年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月4日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用を楽しみにしてくれている。	・広いプレイルームがあるので、身体を動かす活動など幅広い内容で実施している。 ・子どもたちの目標や季節などに応じた活動内容で、毎回同じにならないようにしている。	・流行っていることや所属園でよく取り組んでいること、子どもたちの興味など情報収集をして取り入れていく。 ・本人が楽しく取り組みたり達成感を感じられたりするように工夫をしていく。
2	・子どもに合わせてその都度環境を変えることができる。	・キャスト付きの棚など固定せずに動かせるようにしておくことで、子どもの様子や活動内容に応じて配置を変えている。	・子どもたちが落ち着ける環境になるように、どのようにしていくべきかしっかりと考えて対応していく。
3	・職員数が少ないので情報共有しやすい。それぞれの視点から子どものことを見て、支援を考えている。	・会議だけでなく日常的に職員間で話して共有できるようにしている。 ・職員は全ての活動を担当できるように計画的に分担している。 ・様々な気付きができるように、研修に参加している。	・日頃から話しやすい雰囲気になるように努めていく。 ・活動は分担していくが、負担とならないように職員全体で協力し合う。 ・今後も研修を通してスキルアップに努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・障がい特性に合わせた環境作りや支援方法、各種マニュアルの作成や訓練の実施などを行って伝えているつもりでも、保護者には伝わっていない。	・どのような目的をもって対応しているのかを明確に伝えられていない。 ・マニュアルを作成していることや訓練の実施状況をプリントでお配りするだけの告知になっている。	・連絡帳や直接お話しする時などに、活動の目的やなぜそう支援したのかが明確に伝わるように伝え方を改善する。 ・お配りする時には一言添えてお伝えしたり、実施後の様子のかしゆかしゆだより等でお伝えしたりする。
2	・保護者同士の連携が深まるような支援が不十分。	・年少まで(午前利用)と年中～卒園児(午後利用)のそれぞれで年2回ずつ座談会・茶話会を実施しているが、平日午前の開催なので、お仕事などで都合が付きにくい方もおられる。	・座談会・茶話会に加えて、利用曜日の会(仮)の実施を検討する。気軽な会にして回数を増やす。
3	・地域の住民や、幼稚園や保育園等との交流する機会が少ない。	・時間や職員数などの都合で招くような企画を考えたり、実施したり、小まめに外向いて行ったりすることができにくい。	・計画的に所属園に訪問できるように検討する。 ・お買い物活動など地域を利用できる活動を検討する。